

大西郁夫教授 業績リスト

- [1] 深草団体研究会 (1962), 近畿地方の新时期新生代層の研究 I - 京都東南, 深草付近の新生代層 - . 地球科学, 63, 1-9.
- [2] 原田哲朗・石田史朗・大西郁夫・徳岡隆夫 (1963), 近畿地方の新时期新生代層の研究 III - 大阪南方, 和泉地域の大阪層群. 地球科学, 66, 1-8.
- [3] 木曾谷第四紀研究グループ(1964), 岐阜県坂下町における阿寺断層による段丘面の転移. 第四紀研究, 3, 153-166.
- [4] 大西郁夫 (1964), 大分市における碩南・大分層群の花粉分析. 第四紀研究, 4, 208-216.
- [5] 茨木団体研究グループ (1966), 茨木北方の大阪層群とゾウ化石 (*Elephas shigensis*) の産出 - 近畿地方の新时期新生代層の研究, その 6 - . 松下 進教授記念論文集, 117-130.
- [6] Shuto, T., Onishi, I. and Hitaka, M. (1966), Quaternary geology of the Nyu hills, Oita Prefecture, Kyushu with special reference to the palaeolithic remains. Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ., D, 17, 331-346.
- [7] 西山団体研究グループ (1967), 京都盆地西南部, 西山山麓の大阪層群 - 近畿地方の新时期新生代層の研究, その 7 - . 地球科学, 21, 1-10.
- [8] 大西郁夫・那須孝悌 (1968), 花粉化石からみた鮮新 - 更新世境界に関する 2・3 の問題. 第四紀総合研究会連絡誌, 第四紀, 12, 29-33.
- [9] 西南日本第四紀研究グループ (1968), 西南日本の第四紀地殻変動. 地質学論集, 2, 39-42.
- [10] Onishi, I. (1969) Pollen flora of the Tsunozu group in Shimane Prefecture, Japan. Mem. Fac. Lit. & Sci., Shimane Univ., Nat. Sci., 2, 42-62.
- [11] 山陰第四紀研究グループ (1969), 山陰海岸地域の第四系. 地団研専報, 15, 335-376, 1969.
- [12] 大西郁夫 (1969), 房総半島・上総層群の花粉フロラ. 地球科学, 23, 236-242.
- [13] 西山団体研究グループ・桂高校地学クラブ (1970), 高槻北方丘陵の大阪総群. 地球科学, 24, 208-221.
- [14] 大西郁夫・調枝勝幸. 都野津層群 (1970), 一山陰地方の鮮新・更新統一. 第四紀研究, 9, 149-152.
- [15] 都野津団体研究グループ (1972), 鳥根県大田市大家付近の津野津層群. 三位秀夫博士遺稿・論文選集, 17-24, 1972.
- [16] 宮嶋聖隆・永島晴夫・大西郁夫 (1972), 松江市周辺の地質 - 出雲層群の研究, I. 鳥根大学文理学部紀要理学科篇, 5, 131-138.
- [17] 鎌掛団研グループ (1972), 滋賀県蒲生群, 鎌掛・駒月付近の古琵琶湖層群. 地質学雑誌, 78, 601-609.
- [18] 大西郁夫 (1973), 三瓶山・浮布池および室の内池底質コアの花粉分析. 鳥根大学山陰文化研究紀要, 13, 99-109.
- [19] 蒜山原団体研究グループ (1973), 岡山県北部・蒜山原における泥炭層の年代 - 日本の第四紀層の 14C 年代 (87). 地球科学, 27, 210-211.
- [20] 第四紀古植物研究グループ (1974), 日本におけるウルム氷期の植生の変遷と気候変動 (予報). 第四紀研究, 12, 161-175.
- [21] 大西郁夫 (1974), 山陰地方の第四紀中・後期の植物化石. 鳥根大学文理学部紀要理学科篇, 7, 101-115.
- [22] Onishi, I. (1974), Pliocene and Pleistocene pollen zone in Kinki and Tokai Districts. Mem. Fac. Lit. & Sci., Shimane Univ. Nat. Sci., 8, 91-104.
- [23] 蒜山原団体研究グループ (1975), 岡山県蒜山原の第四系(1). 地球科学, 29, 153-160.
- [24] 蒜山原団体研究グループ (1975), 岡山県蒜山原の第四系(2). 地球科学, 29, 227-237.
- [25] 大根島研究グループ (1975), 大根島は第四紀の火山である. 地球科学, 29, 297-299.
- [26] 吉谷昭彦・山内靖喜・小坂哲朗・大西郁夫 (1976), 鳥根地域を中心とした新第三紀・第四紀火山活動. 地球科学, 30, 95-101.
- [27] 大久保雅弘編 (1976), 山陰地学ハイキング. 128p., たたら書房. (分担執筆)
- [28] Kamei, T., Ikeda, J., Ishida, H., Ishida, S., Onishi, I., Partoazar, H., Sasajima, S. and Nishimura, S. (1977), A general report of the geological and paleontological survey in Maragheh area, northwest Iran, 1973. Mem. Fac. Sci., Kyoto Univ., Geol. & Min., 43, 131-164.
- [29] 大西郁夫 (1977), 岡山県蒜山原層の花粉化石. 第四紀研究, 16, 63-66.

- [30] 大西郁夫 (1977), 出雲海岸平野下第四紀堆積物の花粉分析. 地質学雑誌, 83, 603-616.
- [31] Onishi, I. (1978), Pliocene and Pleistocene pollen stratigraphy in central and southwestern Japan. Mem. Fac.Sci., Kyoto Univ., Geol. & Min., 45, 1-54.
- [32] 大西郁夫 (1979), 出雲海岸平野の第四系. 島根大学理学部紀要, 13, 131-144.
- [33] 大西郁夫 (1979), 花粉の分析. 朝酌川河川改修工事に伴うタテチヨウ遺跡発掘調査報告 I, 島根県教育委員会, 188-193.
- [34] 藤井昭二・赤木三郎・岡田 昭明・大西郁夫・両角芳郎・西田史朗・岡崎美彦・桂 郁夫・竹村利夫 (1979), KT-79-6 東大・海洋研・淡青丸航海山陰・北陸の予察的記録. 金沢大学日本海域研究所報告, 11, 143-149.
- [35] 野尻湖花粉グループ・野尻湖植物グループ (1980), 野尻湖層の花粉化石と植物遺体. 地質学論集, 19, 101-130.
- [36] 大久保雅弘編 (1980), 改訂/山陰地学ハイキング. 149p., たたら書房. (分担執筆)
- [37] 大西郁夫・松井整司 (1980), 見学旅行案内所第 1 班 島根県東部の第四系. 日本地質学会・第 87 年総会・年会.
- [38] 大西郁夫 (1980), 斐伊川河口ボーリングコアの花粉分析. 国営斐伊川下流土地改良事業計画書添付資料, V. 地質編, 57-70, 中国四国農政局.
- [39] 大久保雅弘・赤木三郎編 (1981), 山陰化石物語. 281p., たたら書房. (分担執筆)
- [40] 中海・宍道湖自然史研究会 (1982), 中海・宍道湖の自然史研究—その 1. 予察的柱状採泥の結果について—. 島根大学地質学研究報告, 1, 29-46.
- [41] 島根大学地域分析研究会編 (1982), 飢字の入海—中海とその干拓淡水化をめぐる—. 211p, たたら書房. (分担執筆)
- [42] 新堀友行・柴崎達雄編 (1982), 第四紀 (第二版). 369p, 共立出版. (分担執筆).
- [43] 島根県地質図編集委員会 (1982), 島根県地質図 (20 万分の 1). 国土地図 K.K. (分担執筆) (なし)
- [44] 都野津団体研究グループ (1983), 島根県中部の都野津層と大江高山火山岩類. 地団研専報, 25, 151-160.
- [45] 中海・宍道湖自然史研究会 (1983), 中海・宍道湖の自然史研究—その 2. 宍道湖の底質・底層水および底生動物—. 島根大学地質学研究報告, 2, 79-89.
- [46] 地学団体研究会山陰支部編 (1983), 続/山陰地学ハイキング. 219p. たたら書房 (分担執筆)
- [47] 野尻湖花粉グループ (1985), 野尻湖層および貫ノ木層の花粉化石群集. 地団研専報, 37, 83-106.
- [48] 島根大学地質学教室調査団 (1984), 58.7 山陰豪雨による斜面崩壊の地質学的特性. 島根大学地質学研究報告, 3, 3-20.
- [49] 中海・宍道湖自然史研究会・木下泰正・井内美郎 (1984), 中海・宍道湖の自然史研究—その 3. サイドスキャンソナーとアトラスデソ 20 による宍道湖底の音波探査—. 島根大学地質学研究報告, 3, 167-170.
- [50] 野尻湖発掘調査団編 (1984), 野尻湖の発掘写真集 2. 119p, 共立出版, (分担執筆). (なし)
- [51] 大西郁夫・松田志朗 (1985), 出雲海岸平野下の第四紀堆積物. 山陰地域研究 (自然環境), 1, 51-60.
- [52] 徳岡隆夫・大西郁夫・高安克己 (1985), 中海・宍道湖の底質と自然史研究—その現状と展望—. 山陰地域研究 (自然環境), 1, 61-70.
- [53] 大西郁夫 (1985), 中海・宍道湖湖底およびその周辺地域の最上部完新統の花粉分析. 島根大学地質学研究報告, 4, 115-126.
- [54] 中海・宍道湖自然史研究会 (1985), 中海・宍道湖の自然史研究—その 4. アトラスデソ 20 による宍道湖底の音波探査, 付 宍道湖湖底状況図. 島根大学地質学研究報告, 4, 127-132.
- [55] 大西郁夫 (1985), 中海・宍道湖の自然保護. 地学教育と科学運動, 14, 85-96.
- [56] 島根県地質図説明書編集委員会編 (1985), 島根県の地質. 646p., 島根県, (分担執筆)
- [57] 高安克己・大西 郁夫 (1985), 地質図学. 160p., 地学団体研究会.
- [58] 佐藤仁志編 (1985), 宍道湖の自然. 179p. 山陰中央新報社. (分担執筆)
- [59] 三梨 昂・後藤慎二・鈴木徳行・大西郁夫・高安克己・武田伸二・徳岡隆夫・山内靖喜・安間 恵・浅野 広・金井 豊・井内美郎・水野篤行 (1986), 中海西南部の湖底地形と堆積層 (概報). 山陰地域研究 (自然環境), 2, 71-79.
- [60] 大西郁夫. 中海・宍道湖湖底表層コアの花粉分析と環境変遷 (1986), 山陰地域研究 (自然環境), 2, 81-89.
- [61] 大西郁夫 (1986), 中国地方の第四紀後期植物・花粉群—その 1. 島根県横田町小峠および下横田の後期更新世花粉フロアー. 島根大学地質学研究報告, 5, 1-9.
- [62] 中海・宍道湖自然史研究会・松本英二・井内美郎・水野篤行 (1986), 中海・宍道湖の自然史研究—その 5.

- 宍道湖における 1985 年度柱状採泥. 鳥根大学地質学研究報告, 5, 11-18.
- [63] 鈴木徳行・山本順三・村中英寿・高安克己・山内靖喜・大西郁夫・徳岡隆夫・島田昱郎・三梨 昂 (1986), ヤナコ CHN コーダー (MT-3 型) による地質試料の分析 I. -低温燃焼法, 酸処理法による堆積物有機物の定量とパソコンとのオンライン化-. 鳥根大学地質学研究報告, 5, 19-34.
- [64] 大西郁夫 (1986), 米子市目久見遺跡の花粉分析. 加茂川改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書, 68-77. 米子市教育委員会.
- [65] 徳岡隆夫・大西郁夫・高安克己 (1986), 湖底をさぐる-宍道湖のおいたち. 32p. たたら書房.
- [66] 大西郁夫・渡辺正巳 (1987), 松江市西川津町タテチヨウ遺跡の花粉分析. 山陰地域研究 (自然環境), 3, 109-120.
- [67] 三梨 昂・後藤慎二・大西郁夫・瀬戸浩二・高安克己・徳岡隆夫・安間 恵・松原弘和・中原昌樹・井内美郎 (1987), 中海の湖底地形と堆積層 (続報). 山陰地域研究 (自然環境), 3, 167-174.
- [68] ONISHI, I. (1987), Quaternary system in Chugoku district. Proceedings of the First International Colloquium on Quaternary Stratigraphy of Asia and Pacific Area, Osaka, 84-100.
- [69] 野尻湖花粉グループ (1987), 下部野尻湖層ⅢおよびⅣの花粉化石群集と上部野尻湖層の花粉層序学的対比. 地団研専報, 32, 79-93.
- [70] 大西郁夫 (1987), 中国地方の第四紀後期植物・花粉群-その 2. 鳥取県日南町下花口の含チヨウセンマツ泥炭層および鍵掛峠の砂まじり泥層. 鳥根大学地質学研究報告, 6, 55-60.
- [71] 中海・宍道湖自然史研究会・松本英二・井内美郎・鹿島 薫 (1987), 中海・宍道湖の自然史研究-その 6. 中海における 1986 年度柱状採泥と湖底表層堆積物中の有孔虫・珪藻群集 (予察). 鳥根大学地質学研究報告, 6, 61-84.
- [72] 大西郁夫・赤木三郎・三好 環 (1987), 鳥取県産含チヨウセンマツ泥炭層の 14C 年代-日本の第四紀層の 14C 年代 (166). 地球科学, 41, 79-93.
- [73] 大西郁夫・渡辺正巳 (1987), タテチヨウ遺跡 (85) の花粉分析. 朝酌川河川改良工事に伴うタテチヨウ遺跡発掘調査報告書Ⅱ, 219-223. 鳥根県教育委員会.
- [74] 大西郁夫・渡辺正巳 (1987), 西川津遺跡 (1983) の花粉分析. 朝酌川河川改良工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書Ⅲ, 252-261. 鳥根県教育委員会.
- [75] 日本第四紀学会編 (1987), 日本第四紀地図解説. 東京大学出版会 (分担執筆).
- [76] 日本の地質「中国地方」編集委員会編 (1987), 中国地方. 290p. 共立出版. (分担執筆).
- [77] 三梨 昂・後藤慎二・大西郁夫・高安克己・徳岡隆夫・渡辺正巳・安間 恵・松原弘和・中原昌樹・水野篤行・井内美郎 (1988), 宍道湖の湖底地形と堆積層. 山陰地域研究 (自然環境), 4, 43-54.
- [78] 大西郁夫・渡辺正巳・内田律雄 (1988), 松江市, 西川津遺跡の材化石. 山陰地域研究 (自然環境), 4, 65-79.
- [79] 大西郁夫 (1988), 意宇平野周辺の最上部完新統の花粉群. 山陰地域研究 (自然環境), 4, 81-92.
- [80] 大西郁夫 (1988), 中国地方の第四紀層. 地質学論集, 30, 127-144.
- [81] 大西郁夫 (1988), 中国地方の第四紀後期植物・花粉群-その 3. 鳥取市口細見の泥炭層-. 鳥根大学地質学研究報告, 7, 1-4.
- [82] 山内靖喜・稲原克哉・大西郁夫 (1988), 出雲平野地下の第四系とその基底面の構造. 鳥根大学地質学研究報告, 7, 5-12.
- [83] 後藤慎二・中海・宍道湖自然史研究会 (1988), 中海・宍道湖の自然史研究-その 7. 音響探査による中海・宍道湖の湖底堆積層と完新統基底面高度分布-. 鳥根大学地質学研究報告, 7, 13-23.
- [84] 渡辺正巳・中海・宍道湖自然史研究会 (1988), 中海・宍道湖の自然史研究-その 8. 中海・宍道湖より得られた柱状試料の花粉分析. 鳥根大学地質学研究報告, 7, 25-32.
- [85] 大西郁夫・原田吉樹・渡辺正巳 (1989), 松江市, 西川津遺跡の花粉分析. 山陰地域研究 (自然環境), 5, 45-54.
- [86] 大西郁夫 (1989), 中国地方の第四紀後期植物・花粉群-その 4. 鳥根県仁多町福原および佐田町反部の泥炭層. 鳥根大学地質学研究報告, 8, 1-6.
- [87] 大西郁夫・西田史朗・渡辺正巳 (1989), 山陰地方中部の第四紀後期火山ガラス. 鳥根大学地質学研究報告, 8, 7-16.
- [88] 大西郁夫 (1989), 西川津遺跡 (海崎地区), 弥生時代の植物遺体. 朝酌川河川改良工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書Ⅴ, 143-151, 鳥根県教育委員会.

- [89] 大西郁夫・原田吉樹 (1989), 西川津遺跡 (海崎地区) の花粉分析. 朝酌川河川改良工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書 V, 153-170, 鳥根県教育委員会.
- [90] 大西郁夫・徳岡隆夫・高安克己・渡辺正巳・梶田秀児・日下智博・熊井克己. (1989), 出雲平野西部の形成過程. 昭和 63 年度科学研究費補助金 (一般研究 A) 「古代出雲総合研究」研究成果報告書, 1-16.
- [91] 徳岡隆夫・大西郁夫・高安克己 (1989), 中海・宍道湖の自然史. 日本の科学者, 24, 348-353.
- [92] 大西郁夫・徳岡隆夫・高安克己・石原 清・梶田秀児・日下智博・熊井克己. (1990), 出雲平野西部の自然史. 山陰地域研究 (自然環境), 6, 21-34.
- [93] 野尻湖花粉グループ (1990), 貫ノ木層および下部野尻湖層の花粉化石群集と上部野尻湖層Ⅲ [アジシオ] 火山灰層堆積期以後の古環境変遷. 地団研専報, 37, 61-76.
- [94] 大西郁夫・干場英樹・中谷紀子 (1990), 宍道湖湖底下完新統の花粉群. 鳥根大学地質学研究報告, 9, 117-127.
- [95] 国際生態シンポジウム組織委員会編 (1990), 宍道湖・中海—その環境と生物. 53P, 鳥根県環境保全課.
- [96] 大西郁夫 (1990), 日本海西部沿岸地域の更新世中期以降の植生変化. 第四紀研究, 29, 223-234.
- [97] 徳岡隆夫・大西郁夫・高安克己・三梨 昂 (1990), 中海・宍道湖の地史と環境変化. 地質学論集, 36, 15-34.
- [98] 大西郁夫・大谷英之 (1990), タテチョウ遺跡' 88 の花粉分析. 朝酌川河川改良工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書Ⅲ. 434-436, 鳥根県教育委員会.
- [99] 大西郁夫・高安克己・田崎和江・徳岡隆夫・田中義昭・渡辺貞幸・内田律雄. (1991), 八束町江島の地形と奈良時代の遺跡の発掘調査. 山陰地域研究 (自然環境), 7, 39-52.
- [100] 徳岡隆夫・大西郁夫・高安克己 (1991), 宍道湖・中海の自然史. 国際生態学会シンポジウム鳥根' 90 報告集, 7-17.
- [101] Tokuoka, T., Onishi, I. and Takayasu, K. (1991), Geohistory of Lakes Shiinji and Nakaumi. Proceedings of International Symposium for Ecology, Shimane '90, 11-19.
- [102] 徳岡隆夫・大西郁夫・高安克己・米本正一・安間 恵・後藤慎二・岡田 巖・鹿島 薫 (1991), 中海北西部本庄工区の湖底地形と堆積層. 山陰地域研究 (自然環境), 7, 23-38, 1991.
- [103] 大西郁夫 (1993), 鹿島町佐太遺跡, 最上部完新統の花粉分析. 山陰地域研究 (自然環境), 9, 1-7, 1993.
- [104] 大西郁夫 (1993), 中海・宍道湖周辺地域における過去 2000 年間の花粉分帯と植生変化. 地質学論集, 39, 33-39
- [105] 野尻湖花粉グループ (1993), 第 6 回陸上発掘におけるナウマンゾウ化石産出層準の古環境. 野尻湖博物館研究報告, 1, 195-202.
- [106] 野尻湖花粉グループ (1993), 野尻湖底ボーリング NJ88 試料の花粉化石群集と古環境変遷. 地団研専報, 41, 39-52.
- [107] 大西郁夫・木寺将仁・千田信夫 (1993), 中海南部における最上部完新統の花粉群. 鳥根大学地質学研究報告, 12, 45-52.
- [108] 大西郁夫 (1994), 平田市源代遺跡の花粉分析. 山陰地域研究 (自然環境), 10, 1-10.
- [109] 徳岡隆夫・大西郁夫・高安克己・三瓶良和・瀬戸浩二・安間 恵・土屋洋一・井内美郎・西村清和 (1993), 音波探査による中海の塩水楔の検討とその意義. Proceedings of the 3rd Symposium on Geo-Environments and Geo-technics, 155-160.
- [110] 徳岡隆夫・大西郁夫・三瓶良和・瀬戸浩二・田村嘉之・高安克己・安間 恵・土屋洋一・松田滋夫・井内美郎・西村清和 (1994), 音波探査による中海・宍道湖の塩分躍層の検討とその意義. LAGUNA (汽水域研究) 1, 11-26.
- [111] 大西郁夫 (1994), 山陰地方中央部における最終間氷期の層序. 第四紀, 26, 1-3.
- [112] 大西郁夫 (1994), 斐伊川河口コア HB1 の花粉分析の再検討. 鳥根大学地質学研究報告, 13, 45-52.
- [113] 大西郁夫 (1995), 安来市島田, 黒谷遺跡の花粉分析. 山陰地域研究 (自然環境), 11, 1-10.
- [114] 中村唯史・徳岡隆夫・大西郁夫・三瓶良和・高安克己・竹広文明・会下和宏西尾克己・渡辺正巳 (1996), 鳥根県東部の完新世環境変遷と低湿地遺跡 (口絵 I ~ VIII 解説). LAGUNA (汽水域研究) 3, 9-11.
- [115] 野尻湖花粉グループ (1996), 長野県北部の野尻湖における下部野尻湖層ⅢB 4 (上部更新統) 堆積期の古環境. 野尻湖博物館研究報告, 4, 87-95.
- [116] 野尻湖花粉グループ (1996), 仲町遺跡における貫ノ木層 (94N-I-Q-11) の花粉化石群集と古環境. 野尻湖博物館研究報告, 4, 191-198.

(上記の業績は大西教授記念文庫として教室に保管されている。)